

# 磐城春秋

第十號  
發行所 磐城春城社  
社址 町田市平  
電話 八六二五  
印刷所 高木印刷所  
【錢十四部一價定】

## 投票の鍵 誰が祖國を愛するか

選挙も二十日後に迫つた。我等は決して無關心であつてはならない。是が民主日本の本の存立を決定するものである。我等は「この人物ならぬ」と云ふ者に自主的に投票しなればならぬ。人物は居る、決して我等の代表たるべき人が立つてゐないのではない。棄権は自己欺瞞である。然し表面に現はれたその政策のみにとらはれてゐてはいけぬ。活字により或は耳に依つて其内面を知らなくてはならぬ。

## 一路總選挙 如何に動くか

選挙戦も漸く熱があがり、各市町村の電柱や民家の壁や板扉には色とりどりの演説會のビラが張りつけられてゐる。××選挙事務所と書いた木の香も眞新らしい看板を下げた選挙事務所に出入する人達の姿もあはただしくなつて來た。

有権者は九十一万餘。これを全部三人連記したと仮定すると二百七十三万餘票となる。これを議員定数の十三で割ると廿一万となり更にこの廿一万を四分すると法定の當選標準点の五万餘といふ數字がでてくる。即ちもし縣下の全有権者が一人の棄権もなく洩れなく投票し全部が三名連記した場合に五万票以上獲得しなければ當選できないといふことになる。しかし必ずしも誰も三人連記するとは限らないし、新しい婦人の有権者その他に於て四割

選挙戦も漸く熱があがり、各市町村の電柱や民家の壁や板扉には色とりどりの演説會のビラが張りつけられてゐる。××選挙事務所と書いた木の香も眞新らしい看板を下げた選挙事務所に出入する人達の姿もあはただしくなつて來た。同じ二丁目島内、長島兩氏の事務所看板を珍風景だつたあたりは流石に宣傳價値百パーセントといふ所だ。

## 人物紹介 植田町助役

石城郡下町村長助役六十名(大野、小名原)中四十名は少壯者僅かに十四名、廿歳台の來町助役渡邊五郎氏一人を數ふるのみ。いかに町村自治体に於ては老人が尊まれ、年が物をいつてゐるかはこれを見て見てもわかる。町村の民主主義化はまづ首腦部の若返りから出發しなければならぬ。若返りから出發しなればならぬ。若返りから出發しなればならぬ。若返りから出發しなればならぬ。

即ち三万票以上の得票がなければならぬ。得票順位は一番目になつても當選とならぬ事になる。またその得票が三万以下の場合には失格者として供託金没收の憂を見る事になる。石城郡下からは十三名の有権者に對し十五名も立候補してゐるから四割の棄権と見て八万八千、この三倍の廿六万四千票を十五人で争ふ事になる。一人二万票弱といふ勘定になる。もし何人かが五万票も六万票も獲つたと假定すると相當失格者が出現するものと予想される。しかも本郡は双相等の他地方からの蚕食もあるものであり、此点容易ならぬものが

位の棄権が予想されるから約三万が大体標準得票となるのではないかと思はれる。産黨のボストク等は三日と保たないと云ふ。公平自由なるべき今次總選挙にこんなことがあつてよいのだからか、反對者は堂々と論陣を張つて反撃すればよいではないか。(根本 正)

欠く感がある。須らく對地管理としてこの土地から何依と價値をつけておくべきだ。本年の供米七千二百俵は廿日迄には完遂する。そのためには五百着の作業衣を用意してゐる。自信の程を示してゐる。變革期の指導者としては文化問題が大事ではないかといふ。政治は目に見える事に力を入れなければならない。今から老成に努力しなければならぬ。文化啓蒙の必要を認めてゐる。福氣を享受する。植田町のあらゆる對策的なるものを拂拭して明るい町にする。大なる所大なるものな少壯助役に期待する。古川氏の後任町長は誰に落着くかわからぬが町の革新分子の期待を裏切るやうな事なく助役として果敢な手腕を振ふことを希望する。

△先日或人から「平の菓子工業組合の倉庫には六百斤以上の砂糖がある。これは羊羹に加工して配給することになつてゐるのだが、業者の手に渡るとその間に横流しその他の不正が行はれ易いから砂糖を配給するやうに希望する」といふ申し出があつた。

△一休制制といふやうなものがあるが政府のお聲がかりで太平洋戦争中随分できたが、そのせいであつた。香しくない味を生んでゐる。統制の美名に依つて何が生まれたか。幹部の役得と統制の名に依る集積配給の不正ではなかつたか。縣木社に就いては兎角の噂があつた。△然らばそれを攻撃する者は正しい。會の運営を認んでゐるのかと思ふ。その地位についてうまい汁を吸ひたいといふ野望からやつてゐる場合も少くない。だから事實を調査して見るとそれが誤解だつたといふ例も乏しくはない。

△一部の悪徳者のために正しい配給を眞實にやつてゐる人達迄、疑の眼で見られるといふ事は氣の毒なことだ。△要はお互に信じ合つてゆけぬ所に誤解が生れ、混亂が生れる。戦争中地上から立派な事を叫んでゐた役人があつたり、嘘で固めた愛國歌を國民に歌はせた結果裏表とつたものだといふ觀念、上の行ふ所下之に習ふさいふ餘弊が滔々たる今日、惡徳横行之源をなしてゐる。勿論物の絶対量がない。△是が眞正に今後の國民教育に待たねばならぬ。それは學校で先生が嘘を教へないやうにする。とであり、先生の言動に表裏のないやうにする。

## 合同政見發表會 平市の出場者決定

三月三十一日正午より  
平市第三國民學校講堂  
各候補者二十分宛  
出場候補者  
△共產黨 日野定利 △日蓮黨 新妻清  
△社會黨 大井川幸隆、松井政吉、文城  
△進歩黨 蓮沼龍輔、古川傳一 △立憲 協秋  
△正會 齋藤晃 △青年國民黨 折笠藤  
△日本青年黨 大井川五郎 △無所 會社  
△長島菊苗、鈴木傳明  
△出場希望候補者は至急御申出下さい

合同政見發表會報告  
本社主催の植田町に於ける合同政見發表會は豫報の如く廿一日零時四十分、官公吏、各種統制會、農業會役員の間、所謂役得なるものが横行してゐると聽く實に残念だ、未だ戦争中に味つた甘い汁の味が忘れられぬのであらう、一日も早く公僕たる使命に目覺めたくれ。(一民主市民)

△先日或人から「平の菓子工業組合の倉庫には六百斤以上の砂糖がある。これは羊羹に加工して配給することになつてゐるのだが、業者の手に渡るとその間に横流しその他の不正が行はれ易いから砂糖を配給するやうに希望する」といふ申し出があつた。

△一休制制といふやうなものがあるが政府のお聲がかりで太平洋戦争中随分できたが、そのせいであつた。香しくない味を生んでゐる。統制の美名に依つて何が生まれたか。幹部の役得と統制の名に依る集積配給の不正ではなかつたか。縣木社に就いては兎角の噂があつた。△然らばそれを攻撃する者は正しい。會の運営を認んでゐるのかと思ふ。その地位についてうまい汁を吸ひたいといふ野望からやつてゐる場合も少くない。だから事實を調査して見るとそれが誤解だつたといふ例も乏しくはない。

昂めよ關心!! 選舉事務所一覽

總選舉軌道に

民主日本の存在を決定する總選舉は、いよいよ軌道に乗る。全國民の關心はここに集つてゐる。當地方からも既

に十五名の候補者が名乗る。上げ中心地平市に選舉事務所を設け、昔から選舉事務所所集まる人々はその候補

者、(括弧内は電話番號) 〇進沼龍輔田町一九(二五二) 〇渡邊清 〇新妻清一郎 田町六五(呼五三二) 本人 〇長島菊苗 二丁目七(四二八・五〇一) 高木喬 〇野定利田町六七(四三三) 古内實 〇鈴木傳明 田町二(五二九) 瀧内秀綱 〇關内 正一 二丁目一二(二四二) 金子政通 〇星一三丁目九

志願者一者半 中學校等 〇警中三五〇(六〇〇) 〇一七倍 〇警女三〇〇(五七四) 〇一・九倍 〇平商一〇〇〇(二三八) 〇二・四倍 〇平工書問部一七〇(四六〇) 〇二・七倍夜間部一〇〇(一七〇) 〇一・七倍 〇女一五〇(二九〇) 〇一・九倍 〇警農一〇〇〇(二五〇) 〇二・五倍 〇平女子商一〇〇(一一八) 〇二・二倍

笠藤雄 大工町二六(呼四一〇) 渡邊正三 〇松井政吉 田町三三〇(三三〇) 村田欣吾 〇大井川五郎(植田町電五三) 八代義定(鹿島村) 白岩龜雄(勿來町) 〇四氏も近く平市中事務所を設ける答である

警崎村農組結成は十五日同組長に吉田直文氏副組長に木田周平氏高松繁男氏を選出した。同組合の特資は耕作農民全部の参加に依つて地主と小作人の協力をかり食糧増産をめざす点にあり、郡下に養生しつゝある勤勞農民同盟或は農民組合との目的を異にする点に於いて今後の動きは注目を要するものがある

大内配電所長着任 新任東北配電平營業所所長大内善藏氏は十八日着任した。氏は早大電氣科卒當年五十歳、川俣町の産で前任は福島支店工務課長であつた。

隱退藏物資摘發 當面せる飯米の供出促進と隱退藏物資の摘發に依る正當ルート配給並びに一般勤勞者、農民、復員軍人、引揚同胞、戰災者

石城地方生活擁護同盟結成

の生活擁護のためその主義主張の如何を問はずあらゆる階層、あらゆる政黨派を打つて一丸とした組織を作り總力を食糧

飯米供出促進

文 藝

豆腐と豆腐屋(下) 和田文夫

地方は今春の正月であつて、私の二三の家を御年始に廻られた。きまつて白い豆腐が浮いて居た。おそろしくこれを造るのに、物と時

父 夕焼の空を仰ぎて今宵又 父母の面影胸にみ上げる 思ひ出 遠き丘幼少頃の思ひ出に 行き手折りし月見草

短歌 春遠からば 日々にほころびにけり梅の花 春遠からば乙女心も

文藝と政治 何處を向いてと選舉一杯だ。文藝も自然政治に相付て来る。これより新生日本最大黨の事は

齒の御用は! 熱田齒科醫院 平市白銀町

木村外科醫院 平市南町一四 電話三〇九

酒井醫院 平市南町 電話五五

大森醫院 平市南町 電話二五八

金成醫院 平市南町 電話三五八

上田醫院 平市南町 電話一二九

松村醫院 平市白銀町一〇 電話一〇七番

渡邊醫院 平市八幡小路 電話八一四

五十嵐醫院 平市新川町 電話三六九番

井坂醫院 平市田町 電話五五九

實川醫院 平市田町 電話二七〇

平會館 平市三丁目 電話六二四番

佐藤幸太郎 平市田町

磐城女子學院 願書〆切三月卅一日 考查日四月五・六日

映畫案内 「花籠の歌」 「日本ニュース」同時上映

「彼女の發言」 「日本ニュース」同時上映

「金語樓の大番頭」 「日本ニュース」同時上映

「鐵腕ターザン」 同時上映

聚樂館